



「野口白汀の書」

遺墨展 書貌と風貌

昭和6年 埼玉県熊谷市に生まれる
昭和28年 松井如流に入門
昭和33年 日展初入選
昭和42年 第22回 埼玉国体、天皇杯・皇后杯賞状 揮毫
昭和46年 ジャパンアートフェスティバル ニューヨーク展に「道」出品
書道使節として訪米
第1回 個展開催（熊谷八木橋デパート）
昭和47年 東京大学書道研究会講師就任、第24回 毎日書道展 審査員
昭和49年 第6回 日展 特選
昭和50年 ジャパンアートフェスティバル サンパウロ展に出品 書道使節として訪伯
第7回 日展 無鑑査
昭和53年 パリ芸術祭「徳」出品 書道使節として訪仏
昭和57年 「現代書」発刊 執筆（雄山閣、第14回 日展 特選）
昭和58年 「現代臨書体系」行書 筆位編 執筆（小学館、第15回 日展 無鑑査）
昭和61年 「楷書の光と影」執筆（木耳社）
外務省の要請によりマレーシア日本大使館に書を寄贈
平成元年 「毛筆年賀状」執筆（木耳社）
平成3年 「法書き支那集」執筆（木耳社）、大東文化大学文学部教育学科教授就任
平成4年 「法書作する古典・葉根集」執筆（同朋社）
平成5年 「美しい毛筆年賀状」執筆（木耳社）
平成11年 第31回 日展 審査員
平成13年 第53回 毎日書道展 文部科学大臣賞 埼玉教育文化功労者表彰
個展「野口白汀の書」(セントラル美術館)主催 毎日新聞社作品集出版
平成15年 「日本のこころ童謡唱歌」執筆（教育図書）
平成17年 「暮しを彩る四季の字紙」執筆（木耳社）
平成18年 「一茶 小ききものへの眼差し」執筆（木耳社）
平成19年 日展 評議員、逝去（76歳）

書は素朴に、素直に



野口岱寛さん（本名・淳）
熊谷市板木町一四八
電話0485224649
東原書道会理事長
毎日書道展審査員

野口白汀さんを想って



随：樹齢650年の骨波田の藤を藤、うねる幹のすざに触発され書かれた。

熊谷の書道

野口白汀先生のご子息、野口岱寛先生を板木の自宅にお尋ねし、紫陽花下野草が心地よく生けられている多聞から仕事場へ御通し下さった。

白汀先生の逝去から五年が経過しているが、父の文房四宝に対する思い、厳しさを強く感じ、筆、墨等また手が着けられないと岱寛先生はお話になる。青年の頃、父親の筆を使い怒られた経験が御有りになる。

白汀先生がお描きになったという自画像をお見せ下さった。お若いころの御作と伺ったが、隙のない奥行きを感じさせる。白汀先生は美大でデザイン・絵を学んだこともあり旅行に行くとき写真は撮らずにスケッチをされたという。絵の感覚が書に反映され、野性味のある作品を多く残された。中国の深い書の本質に感性を感じ込んでゆく。大切なリズムであり線が生きていることと岱寛先生はおっしゃる。

白汀先生は二十代初めより松井如流先生の門を叩き、「苦学を重んずる道を開いていった。後に白汀先生は息子に対して「父は師ではない」と松井先生に預けられた。

子供の頃の素直さを持った父、白汀は自然であり、心の趣くま書に向かっていた。日展が近くと神経の昂る父の傍にはいられた。家族は外へ出て過すことが多かったと言った。追いつき追いつかれないと白汀先生のエネルギーを彷彿とさせた。墨を吸った紙は高張りの天井まで重ねられていた。亡くなって初めて父となった感じがするともお話をされた。

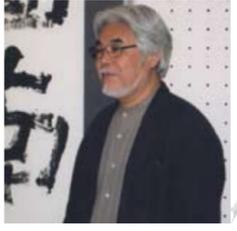
三十八回の歴史があり、市民に愛されている書道展です。この書道展には特別企画展も併催されます。一昨年は熊谷市のキャッチフレーズである「あついで」熊谷に協賛し、うちわに書く展を開催し、大好評でした。この展は、熊谷市が主催し、熊谷市立八木橋百貨店が開催した子供達の「書き初め展」の会場にも飾られ、大勢の家族連れが楽しんでいました。この展は今年も八木橋百貨店で開催の予定です。十一月に開催している「熊谷市書人連盟作品展」も、書のある生活」をテーマに、家庭に飾れる「小作品」による楽しい書道展として多くの人に親しまれています。

今後は、市内の公共的な場や壁面を持つお店などに会員の作品を飾ってほしい、多くの人が書を楽しむ、理解や関心を高めるような企画も模索中と伺っています。

それから、熊谷市近郊の高校は中央で活躍している実力のある先生が指導しているところが多く、熊谷市の高校生の書のレベルは全国でもトップクラスです。この若い力が伸び、花開き、書家として活躍する人材に育てることも私たちのやらねばならない事と話されていました。

野口白汀先生の培われた土壌に地元熊谷の方々にも多くの人達が書家という文化の花を咲かせ続けてくださることを大いに期待したいと思えます。

書のある生活



栗崎浩一路さん（本名）
熊谷市書人連盟会長
毎日書道展相談役
熊谷市美術家協会顧問

今年四月一日より五月十三日まで、熊谷市熊谷図書館三階の美術展室に於いて野口白汀先生の遺墨展が開催され、名筆を偲んで多くの人が訪れました。先生の足跡は周知の事実であり、この機会に現在の熊谷における書道界の活動や今後について、熊谷市書人連盟会長であり、白汀先生の愛弟子でもあった栗崎浩一路先生にお話を伺いました。

熊谷市には、書に携わる人たちが組織する熊谷市書人連盟があり、中央の第一線で活躍している書家から、楽しみで筆を持っている愛好家まで、様々な人が会員になっています。毎年七月に連盟が主催する「熊谷市書道展」は

文質彬彬



渡辺継齊さん（本名・是仁）
熊谷市別府三三一
電話0485321662
熊谷市文化連合会会長
熊谷市日中友好協会会長
熊谷市書人連盟副会長

愛媛県四国中央市のご出身で終戦を中国で迎へ、残留孤児になる寸前で助かった。郷里に戻り地場産業の製紙工場に就職されたが、書の道を志し、教員資格取得に上京された。

熊谷に縁あり、熊谷高校で教鞭を執られた。六年間は国語の教師、徐々に書道中心の教師として通算二十年をご勤務された。この間、進学校の熊谷高校では書道の大学を目指す学生が少なく、熊谷女子高校、不動岡高校、伊奈学園の学生を含めて十四名を送った。

歴史の古い熊高では貴重な書が、時代の流れに埋もれていた。書庫より発掘した渡辺一氏の書は半分だけを生かす事が出来た。現在常勤講師の部屋に掲げられている。ブル脇の倉庫から善道館柔道の祖・嘉納治五郎の、精力善用自他共栄の一語が出てきた時は本当に驚いたと継齊先生は微笑まれた。「書は楷書を得意とするが、近年は平安朝のかな書に関心を寄せて研究している。熊谷は私の故郷になりました。」と語られた。

先生が主催される杉形会は読むことも出来ないで、お伺いした所、孔子の論語に出て来る言葉で「文質彬彬」から命名されたとお話し下さった。文は外見、質は中身彬彬は、程よく調和していますよ。との事。表に出さず態度で自分の中身と背筋が寒くなった。初めて御目に掛らせて頂き、去り難い気持ちでいっぱいになりました。

熊谷の書道は 県北随一



依田祥道さん（本名・俊彦）
熊谷市久保島一九八五
電話0485213932
熊谷市書人連盟事務局長
毎日書道展
熊谷市美術家協会理事
祥祇会

書道への関わりは、幼稚園の頃から父親の依田祥道先生の手ほどきを受け、六年生までには日本書道院の一段特待生となった。熊高高校では渡辺継齊先生の指導を受けた。

昭和六三年お勤め先が週休二日制となった為、本格的に書道と向き合われた。父上・依田祥道先生、母上・依田祇子先生の指導される「祥祇会」を基盤に活動された。毎日書道展参加員をされた父が昨年二月六日、九十一歳で逝去された後、「祥祇会」を主催され、熊谷市書人連盟の事務局長の要職にあられる。若い人の指導に特に熱心に活動され、大原中学校、玉井中学校は父上から引継ぎ指導されている。

熊谷の書道は県北随一のレベルを誇っている。高校の指導者に実力者揃い、中央で名を成しても、野口白汀先生は地元熊谷市を大事にしてくれたことが大きな力となっているとお話された。

熊谷市書人連盟の若い方々のご加入をぜひに御願ひしたいと事務局長は厚い心を注いでおられる。

まちかど書展



柴崎泉聲さん（本名・善夫）
熊谷市筑波一五八
電話0485211676
熊谷市書人連盟副会長
熊谷市美術家協会副会長
毎日書道展審査員
東原書道会副理事長

柴崎先生は高校生のとき、野口白汀先生に入門され、五年前に野口先生が逝去されたまでの四十年間師事され、毎日書道展、埼玉県展で作品を発表されていくことでした。

熊谷市でも熊谷市書人連盟の副会長の要職にあり、連盟の企画部を担当され一昨年より熊谷書道展で「うちわに書く展」「壬辰の年賀状」展等の企画を担当されました。年賀状は昨年暮れは八木橋百貨店に展示され大変好評だったと伺いました。

今、連盟では「まちかど書展」を企画中で、銀行、郵便局、病院等の公的機関から、市内の商店等の市民の目に触れる壁面に会員の作品を展示して頂き、広く市民の皆様へ「書作品」に接して頂きたいとお話されていました。町の隅々まで「書の町熊谷」をアピールして参ります。

玄米食に拘る 又流書家

姜澤香雲さん（本名・千鶴子）
熊谷市箱田六一四四五
電話0485321006
熊谷市書人連盟副会長
瑞雲書道会評議員
熊谷市美術家協会会長
青幽会常任理事

両親が書が好きで小学校より浅見雲先生に師事。熊谷女子高校書道部では書道を同文芸会会長鈴木静村先生に指導頂き、姜沢さん引き継ぎ同文芸会の熊谷支部長を務められ、書道誌の発行にお力をお寄せられました。また、鈴木静村先生の指導する、青幽会の常任理事の要職に在り定期的に東京銀座、鳩居堂にて社中展を開催しておられます。

東京都杉並区に事務局を置く、本年百周年を迎えた瑞雲書道会の評議員をされている。家業の米穀店の傍ら書道業を主宰され、女性のお手元が多く香雲先生のお人柄集っている。玄米食へのこだわりが、玄米を水々、愛用されている。血液をサラサラきれいにして健康が全ての元とおっしゃる。

くまがや小麦の会の会員として書の世界より貢献して下さっています。



平成24年度市民協働「熊谷の力」涼しさ体感事業

「私を植えて」 小さな苗木プレゼント!!!

「苗木アート展示」…竹と苗木によるアートの展示です。

◆熊谷市役所・・・7/17(水) - 8/17(金)

◆市緑化センター・・・7/17(水) - 7/31(水)

◆妻沼行政センター・・・8/1(水) - 8/17(金)

「彩の国ニュースほっと」に出演!

テレビ埼玉 平成24年5月5日(土) 放送

5月7日は、粉の日とされています。埼玉県庁の公職広報課より取材依頼を頂き、テレビ埼玉のスタッフと打ち合わせを行い、取材日に備えました。小麦クラスター研究会と同時取材となり、小麦の会のパウンドケーキの製造現場が撮影の中心となりました。リポーターの小谷大輔さんと小麦の会の製造部長が意気投合し楽しい収録となりました。

小麦の会のクマを前面に描いた支援自販機や、直売所の取材、スタジオの皆様と小麦の会のパウンドケーキ「パウンド・フォー・パウンド」をご試食頂き大好評でした。放映の日は、小麦の会の会員のご家族は、そろってお母さんの熱演に声援を送りました。日常にない素晴らしい経験をさせて頂きました。県庁、テレビ埼玉有難う!

※録画CDが御座います。ご覧になりたい方はご連絡下さい。

豊かな実りを支える人々

(有) 中条農産サービス

社長 吉野克己さん

熊谷は埼玉一位の小麦生産地。六月上旬、麦秋の季節、黄金色に包まれた畑を見ながら、熊谷スポーツ文化公園の一角「ファーマーズレストラン」くまどん」でインタビューをした。

「昔はこのあたりの田んぼは春田と言って、水はけが悪かったから、米だけを作っていたんだよ。(有)中条農産サービス社長 吉野克己さんが言う。麦はどちらかというと乾燥した土地で育つ植物。水はけの良い土地では、昔から米と麦の二毛作が行われていたが、すべての耕作地がそうであったわけではない。

麦の生産を可能にしたのが、三十五年前に二〇年かけて行われた「総合土地改良パイロット事業」で、それで排水が整い、田畑の区画が大きくなり、大型耕作機械も導入できるようになった。

中条農産では現在七〇分の土地に麦を生産している。「農林六」が四五穀「あやひかり」が二五穀後はビートル用麦、四人のオナー、二人の社員、四〇五人のパートという人員、後継者も育ってきているんだよ。田んぼの真ん中で時々麦を米に語りかけてるんだよ。とはにかみながら教えてくれた。人と同じく愛情をたっぷりかけて、作物も育つのだぞぞぞ。天候に左右され、苦勞もある。農業技術の習得には何十年もかかる。安定的な生産のために努力も必要だ。しかし、昔の農業のイメージとは違ってくるよ。とも。作物を育て自然に相手し仕事をする人の鷹揚とした気風に包まれ、晴れ晴れしい気持ちになった。

作付品種の変更と「くまどん」うどんのこだわり・・・

ファーマーズレストラン「くまどん」 店長 吉野克則さん

ところで、本州でも埼玉県でも生産量の多い「農林六一号」が関東農政局と原産として農協の指導で、一年後には「さとのそと」という品種に変更になる。群馬県ではすでに変更されている出、理由は「農林六一号」の病気が赤かび病の発病性があること指摘されたこと。熊谷では赤かび病の発病性は無いことだったが、さとのそとは品種改良され、病気に強く育てやすい。倒れにくい、量が取れる、丈が短い、穀が硬いなどの特徴がある。しかし、中条農産では「くまどん」のうどんのために少量だが「農林六一号」を生産を続けるそう。

その「くまどん」のうどんを作っているのが店長 吉野克則さん。中条農産社長の次男。

熊谷の多くの家庭がそうであるように、吉野家でも何かにつけ家庭で打ちうどんを食べていた。昔から家に伝わる母の味をたよりに風味・香りが特徴の「農林六一号」とつながるした食感の「あやひかり」を配合し研究熱心な克則さんが一年半くらいかけて作り上げた「くまどん」は、埼玉県産と認定食品に認定されている。ほど良い堅さと汗とバランスが絶妙、味わい深いうどんだ。

克則さんに「さとのそと」と「農林六一号」の違いを聞いたところ、黄色い色のさとのそとに対し、黒っぽい色の「農林六一号」という明らかな特徴以外、違いは微妙な違い。

その微妙な違いと、果の認定を受けているということ、中条農産の協力の元「農林六一号」を使い続けていきたいと言った。

熊谷の懐かしい味のうどんがいつまでも「くまどん」で食べられる幸せだ。

いつまでもキレイがいいね

フロアコーティング 等の住まいのコーティング
水廻りのコーティング

BEST HOME・BEST COAT
金井産業株式会社

本社 熊谷市板町1-4-21
TEL 048-521-1193
mail info@popolo-net.com
http://www.popolo-net.com/

新築時、リフォーム時にお応えいたします

森医院

こどもクリニック

熊谷市石原100-1 (熊谷警察そば)
電話 048-599-3344
http://www.mori-kodomo.jp

診療時間 月 火 水 木 金 土 日 祭
午前9:00-12:30 ● ● ● ● ● ● ●
午後12:30-4:00 ● ● ● ● ● ● ●
(午後診療・乳児健診)
午後4:00-6:30 ● ● ● ● ● ● ●
(夜間診療あり)
▲土曜日は午後2:00-4:30(受付4:00まで)

はせがわ歯科

小さなお子様と一緒に治療させていただきます
詳しくは伊及びお電話にてお問い合わせください

〒360-0013 熊谷市中西2-9-7
※大型駐車場完備しています。
TEL 048-528-4182
http://www.hase-dc.info/
フェイスブックページあり

東京ガス(株)TOMOS企業会員
ISO9001
ISO14001 認証取得

石井建設株式会社

■本社：熊谷市銀座7-12
TEL.048(522)5831
■工事部：熊谷市戸出497-1
TEL.048(523)9079

取扱紙 読売新聞、報知新聞
コードモ新聞、埼玉新聞

お申込み・お問い合わせは
電話受付：9:00~19:00
FAX受付：24時間受付致します。

熊谷東部

埼玉県熊谷市筑波1-38
TEL 048-521-3363
FAX 048-521-3616

包装資材・食品容器

株式会社 折勝

本社 〒360-0042 熊谷市本町1-61
TEL 048-521-1132
FAX 048-525-0423

物流センター 〒360-0024 熊谷市間馬町6-4
TEL 048-528-2121
FAX 048-528-2122

佐倉田店 〒360-0023 熊谷市食品流通市場内
TEL 048-524-0609
FAX 048-521-1352

あなたの来店、あなたの暮らしを元気にする、あれこれ便利なお店です

TEL 048-523-9814
熊谷市宮町2-132 株ビル3F

成長企業のパートナー

税理士法人 曾根会計事務所

代表社員 曾根和也
http://www.sonetax.com

■会社設立 ■経理指導 ■税務申告
■記帳代行 ■確定申告 ■相続 続
■ファイナンシャルプランナー

お気軽にご相談ください

TEL 048-523-9814
熊谷市宮町2-132 株ビル3F